



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 東邦亜鉛株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5707 URL http://www.toho-zinc.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手島 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 乙葉 敏夫 TEL 03-3272-5614
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 機関投資家、証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	59,564	27.7	1,975	—	522	—	△488	—
25年3月期第2四半期	46,633	△8.7	△1,278	—	△2,063	—	△1,820	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,746百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,938百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△3.59	—
25年3月期第2四半期	△13.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	145,130	57,661	39.7	424.61
25年3月期	145,814	56,593	38.8	416.75

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 57,661百万円 25年3月期 56,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,000	14.8	3,500	554.3	2,400	△9.0	200	—	1.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（平成25年11月8日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	135,855,217株	25年3月期	135,855,217株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	56,241株	25年3月期	56,226株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	135,798,987株	25年3月期2Q	135,799,006株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
4. その他	13
(1) 連結売上高	13
(2) 個別業績の概要	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀の大胆な金融緩和継続とアベノミクスと称される一連の政策決定への期待から、極端な円高や株式市場の低迷が修正され、企業の景況感もリーマンショック前までの水準に改善するなど、漸くデフレ状況から脱しつつあります。

一方、当社グループを取り巻く事業環境につきましては、為替相場（円/米ドル）が前年同期と比べて大幅な円安水準で推移しました。しかしながら、亜鉛・鉛のLME（ロンドン金属取引所）相場は、中国をはじめとする新興国の経済減速に伴う需要鈍化や供給過剰構造の改善が進まないこと等により、低迷が続きました。また、銀相場は、米ドル高の裏返しの現象となった金価格の下落に引きずられ、前年同期を大幅に下回る水準で推移しました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、前述のとおり大幅な円安で推移したことに加え、銀・亜鉛の増販や連結子会社の豪州鉱山会社CBH Resources Ltd.（以下「CBH社」という。）が保有するラスプ鉱山の本格稼働等から、下表のとおり売上高が595億64百万円と前年同期比129億31百万円（28%）の増収となりました。

損益面では、営業利益は、円安等により19億75百万円と、前年同期比32億53百万円の増益となりました。経常利益は、CBH社に対する豪ドル建て貸付金及び同社の米ドル建て借入金の為替評価損失等から5億22百万円と、営業利益よりも小幅な前年同期比25億85百万円の増益にとどまりました。四半期純損益は、さらに法人税負担等が加わり4億88百万円の損失（前年同期は18億20百万円の損失）となりました。

(累計)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益又は 営業損失（△）	経常利益又は 経常損失（△）	四半期純損失 （△）
平成26年3月期第2四半期	59,564	1,975	522	△488
平成25年3月期第2四半期	46,633	△1,278	△2,063	△1,820
増減額	12,931	3,253	2,585	1,332
増減率（%）	28	—	—	—

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 製錬事業部門

《亜鉛》

販売面では、主用途である亜鉛めっき鋼板向けが堅調に推移し、前年同期比6%の増販となりました。価格面では、LME相場が期中平均1,850ドル/トンと前年同期（1,908ドル/トン）比58ドル下落しました。国内価格は、大幅な円安により期中平均232千円/トンと前年同期（197千円/トン）比35千円上昇しました。この結果、売上高は前年同期比26%の増収となりました。

《鉛》

販売面では、主用途であるバッテリー向けが前年同期並であったものの、若干の減販となりました。価格面では、LME相場が期中平均2,079ドル/トンと前年同期（1,976ドル/トン）比102ドル上昇しました。国内価格も、大幅な円安により期中平均266千円/トンと前年同期（208千円/トン）比58千円上昇しました。この結果、売上高は前年同期比26%の増収となりました。

《銀》

販売面では、輸出の増加もあり、前年同期比17%の増販となりました。価格面では、ロンドン銀相場が期中平均22.2ドル/トロイオンスと前年同期（29.7ドル/トロイオンス）比7.4ドル下落し、国内価格も大幅な円安であったものの期中平均72,523円/キログラムと前年同期（77,267円/キログラム）比4,744円下落しました。結果として、価格面での落ち込みを増販が補い、売上高は前年同期比9%の増収となりました。

以上のほか、硫酸などその他の製品を合わせた当事業部門の売上高は、前述の通り大幅な円安等により404億32百万円と前年同期比76億71百万円（23%）の増収、営業利益は16億88百万円と前年同期比30億37百万円の増益となりました（前年同期は13億48百万円の損失）。

② 資源事業部門

CBH社を擁する当事業部門の売上高は、昨年7月にラスプ鉱山が開山しエンデバー鉱山と合わせ2拠点での生産体制に移行したことから、76億74百万円と前年同期比42億3百万円（121%）の大幅な増収となりました。一方、営業損益は、鉱業権・のれんの償却負担増やLME相場の低迷に加えて、ラスプ鉱山の収益源である高品位鉱からの採掘が遅れ赤字が継続したことから、営業損益は12億2百万円の損失と前年同期比3億27百万円の減益と

なりました（前年同期は8億74百万円の損失）。

③ 電子部材事業部門

《電子部品》

主用途の内、エアコン向けや車載電装向けは好調に推移したものの、産業機器向けが低迷したため、売上高は前年同期並にとどまりました。

《電解鉄》

世界のトップシェアを誇る電解鉄は、主力製品のマイロンが特殊鋼向け、アトミロンが鉄鋼向けで好調に推移し、売上高は前年同期比11%の増収となりました。

《プレーティング》

I T・デジタル機器などの接点に使用されるプレーティング製品（金、銀、錫、ニッケル等のメッキ材）は、車載向けが好調であったものの、携帯電話、スマートフォン及びデジタルカメラ等の精密電子機器向けは大きく落ち込み、売上高は前年同期比8%の減収となりました。

《機器部品》

主力製品のタイヤ用バランスウエイトは中国で売上高を伸ばし、粉末冶金製品は自動車関連部品・一般産業機器向けで好調に推移し、売上高は前年同期比5%の増収となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は34億9百万円と前年同期並、営業利益は4億84百万円と前年同期比79百万円（20%）の増益となりました。

④ 環境・リサイクル事業部門

《酸化亜鉛》

電炉ダストから製造する主力製品の酸化亜鉛（商品名：銀嶺R）は、タイヤメーカー向けの需要が増大し、売上高は前年同期比10%の増収となりました。

《その他のリサイクル事業》

使用済みニカド電池や廃酸の処理などその他のリサイクル事業は、順調に増大し、売上高は前年同期比16%の増収となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は22億99百万円と前年同期比2億56百万円（13%）の増収、営業利益は4億54百万円と前年同期比3億97百万円の大幅な増益となりました。

⑤ その他事業部門

《防音建材事業（ソフトカーム）》

大型病院向けのX線遮蔽鉛板や一般防音向け制振遮音材が好調に推移し、売上高は前年同期比5%の増収となりました。

《土木・建築・プラントエンジニアリング事業》

土木・建築部門の売上高が増加し、大型プラント案件も完工したことなどにより、売上高は前年同期比48%の増収となりました。

《運輸事業その他》

運輸部門は、運送貨物やリサイクル原料等の扱い量の増加により、売上高は前年同期比11%の増収となりました。商社部門は国内金属価格の上昇に伴い、売上高は前年同期比11%の増収となりました。

以上のほか、環境分析部門を合わせた当事業部門の売上高は、57億48百万円と前年同期比7億73百万円（16%）の増収となったものの、営業利益は4億63百万円と前年同期比12百万円（3%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億83百万円減少し、1,451億30百万円となりました。

負債については、借入金の返済などにより前連結会計年度末に比べ17億51百万円減少し、874億69百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が減少したものの、CBH社純資産の為替換算でその他の包括利益累計額が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ10億67百万円増加し、576億61百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は39.7%となり、当第2四半期連結会計期間末において、1.9ポイント上昇しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ14億91百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末は99億23百万円となりました。

その内容は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、23億98百万円の収入（前年同期比47億98百万円の収入減）となりました。これは主として、法人税等の支出やたな卸資産の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、CBH社でのラスプ鉱山開発や国内の製造設備の維持更新などにより有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出などがあったため、27億57百万円の支出（前年同期比53億49百万円の支出減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済などにより11億38百万円の支出（前年同期は27億43百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の個別業績につきましては、為替は想定よりも円安に推移するものの、金属相場が想定を下回り、売上高や営業利益は前回発表値に比して減収減益となる見込みであります。一方、経常利益及び当期純利益につきましては、豪ドル安に伴う外貨建貸付金からの為替評価損失が加わり、前回発表値からの減益幅が営業利益に比して拡大する見込みであります。

連結業績につきましては、CBH社が運営するラスプ鉱山において高品位鉱へのアクセスが遅れたことから、通期で営業赤字となる見込みであります。このため営業利益は前回発表値からの減益幅が個別に比して拡大する見込みです。また、経常利益及び当期純利益につきましても、CBH社において外貨建借入金からの為替評価損失が生じる影響で、前回発表値からの減益幅が営業利益に比して拡大する見込みであります。

〔通期個別業績予想〕

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	113,000	5,700	6,400	3,800
今回修正予想(B)	106,000	5,500	5,200	3,100
増減額(B-A)	△7,000	△200	△1,200	△700
増減率(%)	△6.2	△3.5	△18.8	△18.4

〔通期連結業績予想〕

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	129,000	4,100	4,700	1,700
今回修正予想(B)	119,000	3,500	2,400	200
増減額(B-A)	△10,000	△600	△2,300	△1,500
増減率(%)	△7.8	△14.6	△48.9	△88.2

〔金属価格・為替〕

	前回発表予想	今回修正予想			(参考) 前年度 上期実績
		上期実績	下期見通し	通期見通し	
亜鉛 \$/t	2,000	1,850	1,950	1,900	1,908
鉛 \$/t	2,200	2,079	2,200	2,139	1,976
銀 \$/OZ	26.0	22.2	22.5	22.4	29.7
為替 円/\$	95.0	98.9	98.0	98.4	79.4

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,414	9,923
受取手形及び売掛金	14,667	15,146
商品及び製品	6,993	9,015
仕掛品	8,207	8,199
原材料及び貯蔵品	16,094	14,973
その他	4,007	3,760
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	61,384	61,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,175	9,906
機械装置及び運搬具（純額）	26,221	25,252
土地	16,948	16,948
その他（純額）	977	903
有形固定資産合計	54,322	53,011
無形固定資産		
鉱業権	23,166	23,614
のれん	548	535
その他	52	45
無形固定資産合計	23,767	24,195
投資その他の資産		
投資有価証券	4,319	4,610
その他	2,775	3,050
貸倒引当金	△756	△756
投資その他の資産合計	6,339	6,904
固定資産合計	84,429	84,111
資産合計	145,814	145,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,158	7,161
短期借入金	22,478	22,478
1年内返済予定の長期借入金	2,897	9,284
コマーシャル・ペーパー	6,000	7,000
未払法人税等	2,308	725
引当金	285	317
その他	5,824	4,987
流動負債合計	45,951	51,954
固定負債		
長期借入金	31,560	24,082
退職給付引当金	2,191	2,051
その他の引当金	501	536
資産除去債務	1,368	1,392
再評価に係る繰延税金負債	5,061	5,061
その他	2,586	2,391
固定負債合計	43,269	35,514
負債合計	89,220	87,469
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,630	14,630
資本剰余金	9,876	9,876
利益剰余金	21,696	20,529
自己株式	△23	△23
株主資本合計	46,179	45,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	781	1,177
繰延ヘッジ損益	482	106
土地再評価差額金	8,290	8,290
為替換算調整勘定	859	3,073
その他の包括利益累計額合計	10,413	12,648
純資産合計	56,593	57,661
負債純資産合計	145,814	145,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	46,633	59,564
売上原価	44,211	52,825
売上総利益	2,421	6,739
販売費及び一般管理費	3,699	4,763
営業利益又は営業損失(△)	△1,278	1,975
営業外収益		
受取利息	18	10
受取配当金	50	70
受取ロイヤリティー	—	586
その他	218	196
営業外収益合計	287	862
営業外費用		
支払利息	258	227
為替差損	768	2,037
その他	46	51
営業外費用合計	1,073	2,316
経常利益又は経常損失(△)	△2,063	522
特別利益		
固定資産売却益	2	4
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産除却損	201	110
投資有価証券売却損	—	36
その他	8	0
特別損失合計	209	148
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,270	378
法人税、住民税及び事業税	161	789
法人税等調整額	△611	76
法人税等合計	△449	866
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,820	△488
四半期純損失(△)	△1,820	△488

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,820	△488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△599	395
繰延ヘッジ損益	△683	△375
為替換算調整勘定	1,164	2,214
その他の包括利益合計	△118	2,234
四半期包括利益	△1,938	1,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,938	1,746
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,270	378
減価償却費	3,266	4,333
減損損失	2	—
のれん償却額	18	21
投資有価証券評価損益(△は益)	4	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△132	△139
その他の引当金の増減額(△は減少)	26	63
受取利息及び受取配当金	△68	△80
支払利息	258	227
有形固定資産売却損益(△は益)	△2	△3
有形固定資産除却損	196	110
売上債権の増減額(△は増加)	1,453	△270
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,066	△836
仕入債務の増減額(△は減少)	1,410	725
未払消費税等の増減額(△は減少)	210	△253
その他	185	660
小計	6,612	4,937
利息及び配当金の受取額	69	80
利息の支払額	△220	△284
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	736	△2,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,197	2,398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,688	△1,667
有形固定資産の売却による収入	3	4
無形固定資産の取得による支出	△3,573	△1,357
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
その他	153	266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,106	△2,757
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,866	△1,450
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△1,000	1,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△950	△678
その他	△64	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,882	△1,138
現金及び現金同等物に係る換算差額	112	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,679	△1,491
現金及び現金同等物の期首残高	16,545	11,414
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,865	9,923

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製錬	資源	電子部材	環境・リ サイクル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	32,760	3,471	3,383	2,043	41,659	4,974	46,633	—	46,633
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,355	1,134	61	0	2,552	2,220	4,773	△4,773	—
計	34,116	4,606	3,444	2,044	44,211	7,194	51,406	△4,773	46,633
セグメント利益又は損 失(△)	△1,348	△874	405	57	△1,760	476	△1,284	6	△1,278

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額6百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△23百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製錬	資源	電子部材	環境・リ サイクル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	40,432	7,674	3,409	2,299	53,816	5,748	59,564	—	59,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,459	3,131	54	5	4,650	2,356	7,007	△7,007	—
計	41,891	10,806	3,464	2,305	58,467	8,104	66,571	△7,007	59,564
セグメント利益又は損 失(△)	1,688	△1,202	484	454	1,425	463	1,889	86	1,975

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額86百万円には、セグメント間取引消去157百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△70百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他

(1) 連結売上高

品名	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)			当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)			前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)		
	数量	金額 (百万円)	構成比 (%)	数量	金額 (百万円)	構成比 (%)	数量	金額 (百万円)	構成比 (%)
亜鉛製品	55,061 t	9,890	21.2	58,582 t	12,468	20.9	107,578 t	20,366	19.6
鉛製品	43,945 t	8,407	18.0	42,711 t	10,607	17.8	87,884 t	18,367	17.7
電気銀	155,364Kg	11,742	25.2	182,325Kg	12,823	21.5	353,970Kg	29,053	28.0
硫酸		810	1.7		817	1.4		1,689	1.6
鉱石販売		3,471	7.4		7,674	12.9		11,034	10.6
電子部品		1,419	3.0		1,407	2.4		2,706	2.6
電子材料等		2,032	4.4		2,063	3.5		3,890	3.8
酸化亜鉛		1,036	2.2		1,138	1.9		2,178	2.1
廃棄物処理		1,008	2.2		1,168	2.0		2,171	2.1
防音建材		999	2.1		1,046	1.8		1,924	1.9
完成工事高		851	1.8		1,272	2.1		2,619	2.5
その他		4,963	10.6		7,075	11.9		7,650	7.4
合計		46,633	100.0		59,564	100.0		103,654	100.0

(2) 個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の個別業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	53,792	28.5	2,938	—	2,442	—	1,447	—
25年3月期第2四半期	41,860	△6.6	△757	—	△812	—	△405	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	10.66	—
25年3月期第2四半期	△2.99	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	142,287	61,841	43.5	455.39
25年3月期	141,742	61,011	43.0	449.28

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 61,841百万円 25年3月期 61,011百万円

2. 平成26年3月期の個別業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	14.4	5,500	56.3	5,200	△18.9	3,100	△17.9	22.83